

# 帷子地区センター はつらっつ(認知症予防教室) 日誌

日時 令和 4年 8月 8日 月曜日 10:00~11:30 天候 晴れ時々雨

チームN	中津 須田
------	-------

## 1 スケジュール

プログラム名	備考
挨拶 HWリアリティオリエンテーション 姿勢・発声トレーニング ( 中津 )	事務・写真撮影 運営スタッフ
ストレッチ・筋トレ ( 須田 )	
認知症予防講座 ( のぞみの丘ホスピタル 臨床心理士 小島氏 )	
コグニサイズプログラム ( 中津 )	
挨拶	

## 2 認知症予防講座 (俗称：プチ講座)

講座名	内容
MCIに気付くには？ 日常生活から考える	MCI=軽度認知機能障がい。教室の始めから常にお伝えしている認知機能って？スライドを用いて私たちが日常生活の中で使っている「認知機能」に着目し講話を進める。参加者の皆様に問いかける。「今日起きて何をしましたか？」ユーモアを交え、日常生活の中で使われる認知機能の一つずつ紹介しながら理解を深めていった。結語には「認知機能のどれが低下しても…スムーズに出来るかも!」「今まで送っていた生活が、『あれっ』と思ったときには、気付くチャンス!地域の包括支援センター、保健師さんなどに相談することが大切ですと先生。認知症を予防するんだという気持ちや教室のような交流の場の大切さ、そしてコグニサイズトレーニングに関しても様々な認知機能を使うため有効な運動だよ!と参加者の背中を押してくれた。
担当	
のぞみの丘ホスピタル 臨床心理室 小島一晃	
時間	
10:40 ~ 11:10	

## 3 コグニサイズメニュー

内容
足踏み + 数唱 (数字の課題にて上肢操作・手拍子)
足踏み + 作業記憶課題 (数字と手指動) ストループ課題 (文字・色の識別)
足踏み + 数字と関連付けた 他者との身体 (活動) 課題 計算・言語課題
1人で行うコグニサイズと感染対策を徹底し対面 (ペア) でのコグニサイズ。

## 4 その他メニュー

バイタルサインプログラム①	→	受付にて検温・問診
バイタルサインプログラム②	→	血圧測定
相談	⇒	参加者さまからのニーズに合わせて対応 包括スタッフに随時報告
初期評価	→	握力・TUG・反応速度・質問紙 ※未測定の方へ実施も含む。

## 5 反省・次回の予定など

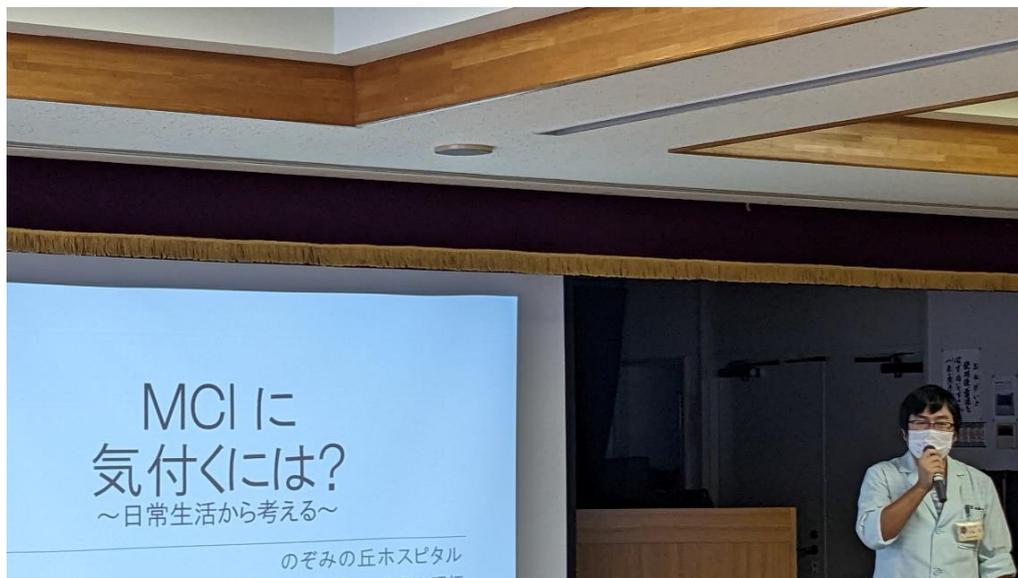
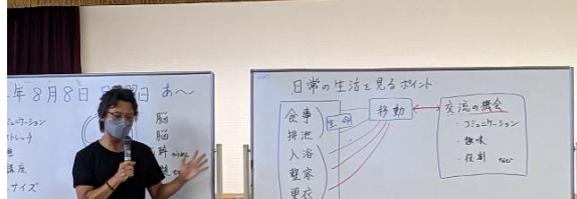
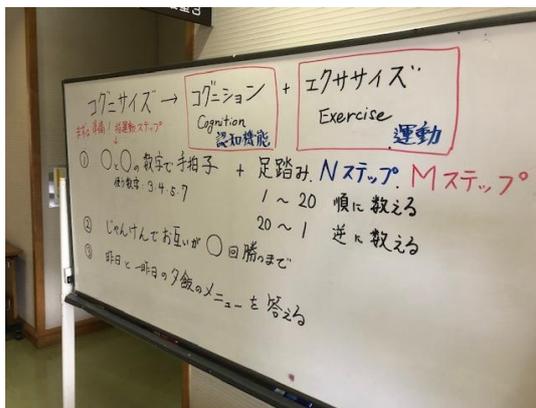
新型コロナウイルス感染対策を行いながら教室運営。マスク着用、手指消毒などの標準対策はもちろんのこと換気やソーシャルディスタンスにも気を配りながらトレーニングを実施。運動に伴う体調変化や転倒予防も常時、気を付けていく。



参加者数		
性別	男性	女性
人数	5	23
合計	28 / 37名中	

## 6 参考資料・教室の様子など

新型コロナウイルス  
感染対策を講じながらの教室開催！！



### 第12回 プチ講座

講師 : 臨床心理士・公認心理師 小島 一晃

**MCIに気付くには~日常から見る認知機能~**

臨床心理士からの専門的かつ分かりやすい講話！！